

CASBEE-建築(新築)2016年版
グアイセーエブリ-二十四線(株)(仮称)京都城陽ハブセンター-建築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境					0.30		-	3.0
1 音環境				3.2	0.15		-	3.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	
1.2 遮音				3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽衝撃源)					-		-	
4 界床遮音性能(重衝撃源)					-		-	
1.3 吸音		二面に吸音材を仕様		4.0	0.20		-	
2 温熱環境				2.8	0.35		-	2.8
2.1 室温制御				3.5	0.50		-	
1 室温		外皮性能の高い外壁・窓システムの使用		3.0	0.38		-	
2 外皮性能				5.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				3.0	0.30		-	
3 光・視環境				3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.30		-	
1 昼光率				3.0	0.60		-	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-	
1 昼光制御				3.0	1.00		-	
3.3 照度				3.0	0.15		-	
3.4 照明制御				3.0	0.25		-	
4 空気質環境				3.2	0.25		-	3.2
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-	
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-	
4.2 換気				3.0	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.33		-	
2 自然換気性能				3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-	
4.3 運用管理				4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		他室へ配慮した喫煙排気の独立設置		5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能					0.30		-	3.1
1 機能性				2.7	0.40		-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40		-	
1 広さ・収納性				3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画				1.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		-	
1 広さ感・景観				3.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33		-	
3 内装計画				3.0	0.33		-	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.9	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		厨房排気ダクトにSUS使用		4.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				3.0	0.20		-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-	
3 電気設備				3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA設定		4.0	0.20		-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.7	0.30				3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30				
1	階高のゆとり	3.9m以上の階高確保	5.0	0.60				
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.3未満	4.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり		設定荷重4,000N/m ²	4.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40				
1	空調配管の更新性		3.0	0.20				
2	給排水管の更新性		3.0	0.20				
3	電気配線の更新性		3.0	0.10				
4	通信配線の更新性		3.0	0.10				
5	設備機器の更新性		3.0	0.20				
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40				2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30				3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.7
LR1 エネルギー			-	0.40				4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BP _{tm} = 0.60						
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13				3.0
3 設備システムの高効率化		(BEI)[BEI _m] = 0.17	5.0	0.63				5.0
4 効率的運用			3.0	0.25				3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
4.1	モニタリング		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制		3.0	0.50				
集合住宅の評価								
4.1	モニタリング							
4.2	運用管理体制							
LR2 資源・マテリアル			-	0.30				3.5
1 水資源保護			3.4	0.20				3.4
1.1 節水		自動水栓、節水型大便器、人感センサー小便器の設置	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60				3.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		磁器質タイル:風除室、ビニル系床材:廊下、ビニル床材:食堂	5.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材、OAフロア の採用	5.0	0.20				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70				
1	消火剤		-	-				
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50				
3	冷媒		3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			-	0.30				3.4
1 地球温暖化への配慮		建築物エネルギー消費性能確保計画 計画書	4.6	0.33				4.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33				3.0
2.1 大気汚染防止		オール電化採用	5.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25				
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25				
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25				
3	交通負荷抑制	附置義務以上の駐輪台数、待機車輛スペース、管理用駐車場の確保	4.0	0.25				
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33				2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1	騒音		3.0	0.50				
2	振動		3.0	0.50				
3	悪臭		-	-				
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.3	0.40				
1	風害の抑制		2.0	0.70				
2	砂塵の抑制							
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			3.3	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70				
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	グレアを低減させる仕上材の採用	4.0	0.30				